

## JENESYS2022 日シンガポール交流の記録 (日本語学習者 I)

### 1. プログラム概要

【目的】シンガポールで日本語を学習している青年が、訪日し、視察やホームステイを通して、多角的に日本についての理解を深め、日本語の学習意欲の向上を図り、日本への留学、就職の可能性を発見できる機会とすることを目的として実施しました。

#### 【参加者】

シンガポールの専門学校生及び引率者 計 38 名

【訪問地】事前学習：東京都、訪日プログラム：東京都、秋田県

### 2. 日程

#### ■ 事前学習（オンライン）：

2022 年

9 月 27 日（火曜日） 【講義・質疑応答】日本理解講義「Japan Today」講師：SIMA 国際経営研究所 所長 木村 秀夫氏

2023 年

3 月 1 日（水曜日） 【出発前オリエンテーション】訪日プログラム前説明、本プログラムの概要、旅程の確認

訪日前迄の個別学習 【動画視聴】ホームビジット体験、南三陸町からのメッセージ、日本文化理解（京都）、広島ピースツアー、日本語学習、ようこそ日本へ～日本の感染症対策～、講義「Japan Today」

#### ■ 訪日プログラム：

3 月 8 日（水曜日） 羽田空港より入国

【オリエンテーション】訪日時オリエンテーション

【講義】日本語講習 講師：JICE 国際協力推進部 日本語教育事業課 五十嵐 洋美氏、同上 当間 文氏

3 月 9 日（木曜日） 【視察】浜離宮恩賜庭園、歌舞伎座

【視察】東京大神宮、浅草

3 月 10 日（金曜日） 東京都から秋田県に移動

【視察】角館武家屋敷

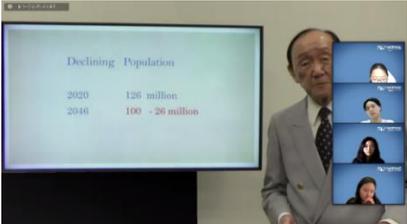
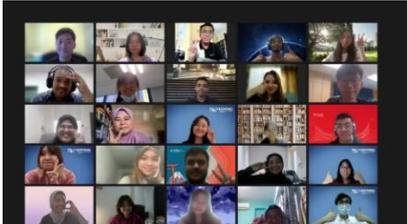
3 月 11 日（土曜日） 【表敬訪問】秋田県仙北市長 田口 知明氏、仙北市国際交流協会 会長 吉田 裕幸氏

【ホームステイ対面式】

- 【ホームステイ】秋田県仙北市の9家庭訪問
- 3月12日（日曜日） 【ホストファミリー歓送会】
- 【ワークショップ】報告会準備
- 3月13日（月曜日） 秋田県から東京都に移動
- 【報告会】
- 3月14日（火曜日） 羽田空港より出国

### 3. プログラム記録写真

#### 事前学習

	
<p>9月27日【講義・質疑応答】日本理解講義「Japan Today」</p>	<p>9月27日【講義・質疑応答】記念写真</p>

#### 訪日プログラム

	
<p>3月8日【オリエンテーション】</p>	<p>3月8日【講義】日本語講習</p>
	
<p>3月9日【視察】浜離宮恩賜庭園</p>	<p>3月9日【視察】歌舞伎座</p>
	
<p>3月9日【視察】東京大神宮</p>	<p>3月9日【視察】浅草</p>

	
3月10日【視察】角館武家屋敷	3月11日【表敬訪問】秋田県仙北市
	
3月11日【ホームステイ対面式】	3月11日【ホームステイ】秋田県仙北市
	
3月12日【ホストファミリー歓迎会】	3月13日【報告会】

#### 4. 参加者の感想（抜粋）

##### ◆ 大学生

講義から多くを学び、話題になった事などを実際直接体感したいという気持ちがさらに強くなりました。

##### ◆ 大学生

訪日前のプログラムに参加して、日本について理解を深めることができ、とても楽しかったです。将来的にアンケートやクイズなどを導入することで参加者との交流が活発にできるとさらに良いと思いました。

##### ◆ 高校生

ホームステイを心から楽しみました。秋田に住む方々の生活を体験できるという特別な経験をしました。私を受け入れてくれた家族はとても暖かく歓迎して下さいました。また正式ではないですが、茶道の体験もさせて頂きました。茶道の知識はありませんでしたが、心が落ち着くような楽しい経験でした。また体験したいと思います。

##### ◆ 高等専門学校生

今回の訪日プログラムで最も心に残ったのはホームステイです。日本の地方に、それも伝統的な日本の家を訪問し、ご家族と生活を共にするという大変貴重な体験でした。その他にも神社やお寺などの歴史的建造物や新幹線なども心に残りました。写真やアニメで見ていたときに驚いていましたが、実際に新幹線に乗ることができて感動的な経験になりました。

◆ 大学生

正直なところ秋田県を知りませんでした。ホームステイを通じて秋田地方の生活を経験できたことが心に残りました。とても忙しいスケジュールの中、秋田にいる間は休息の時間のように感じました。私たちはご家族や地域の人たちとの交流し、「美味しい」を「うめー」と言うなど方言まで学びました。私のグループのホストファミリーは私たちをととても歓迎して下さい、自分たちで育てた野菜が入った地元料理をたくさんごちそうしてくれました。また、きりたんぼや笹もちなどの伝統食の作り方や、折り紙で鶴を折る方法も教えてくれました。着物も着せて頂きました。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ ホストファミリー

海外の方を受け入れる事で、改めて私たちの文化などを再確認出来ました。インターネットで翻訳アプリなどを使って距離感がグッと縮まったと思いました。

◆ ホストファミリー

2日間楽しい時間を過ごす事ができました。

6. 参加者の対外発信

	
<p>2022年9月27日（Instagram） JENESYS オンラインプログラム シンガポール・マレーシア プログラムを企画してくださりありがとうございました。いつかみなさまにお会いすることを楽しみにしています。</p>	<p>2022年9月27日（Facebook）（シンガポール） 木村先生の興味深い講義に感謝します。 歴史、文化、社会、さらに経済等の講義は、私にとって大変価値があるもので、日本についてさらに理解するためのプログラムで、大変興味深く、胸が高まりました。日本を訪れる機会があることを心から願っています！</p>



Yesterday was our fourth day in Japan! We met our host families early in the morning and spent the entire day with them! 3-4 students were assigned to one household and explored the city with the family.

I had the chance to eat at a local ramen store. Everyone was local. It felt like we were also the locals ourselves. We also went shopping, sightseeing at 湯山神社 (Yuzawa Shrine) and the majestic 田沢湖 (Tazawa-ko) Fun fact, Lake Tazawa is a popular place to swim in summer!

Eating food prepared by my host family, spending time and watching baseball games with them, I felt like I was truly immerse in Japanese culture.

Next morning, お母さん (Mother) taught us to make pizza and I told her that I like pineapple pizza. She was so surprised as she had never heard of that as a pizza ingredient. It was her time trying, she loves it and told us that she will include it into their menu!

Some of my 友達 (friends) went snowboarding, shopping at Aeon Mall, trying out 着物 (kimono), the national dress of Japan! Everyone had different homestay experience and it made this trip unique to us! That concludes our fourth day of the trip.



The past few days have been really memorable and has shown me what it's like to live in Akita. The local culture and history is very engaging to learn about.

The scenery and views were outstanding and we were welcomed with the warm smiles from the locals.

2023年3月12日 (Instagram)

シンガポール 大学生

昨日は日本でのプログラム4日目でした。私達は朝早くホストファミリーと対面し、丸一日を一緒に過ごしました。3~4名の学生が各家庭に割り当てられ、ホストファミリーと一緒に町を探索しました。

地元のラーメン屋さんに行く機会がありました。そこにいるのは皆地域の人たちで、まるで自分も地域住民であるかのように感じました。また、買い物や神社や田沢湖にも行きました。田沢湖は夏にはスイミングで人気の場所だそうです。

ホストファミリーが作ってくれた食事をいただき、テレビで野球を一緒に観るなどして一緒に時間を過ごしました。本当に日本の文化の中に没入した気持ちでした。

翌日、ホストマザーがピザの作り方を教えてくれました。私が、パイナップルピザが好きと伝えると、ホストマザーはとても驚いて、ピザの材料では聞いたことがないと言いました。今度は彼女がトライする番でした。彼女はパイナップルピザを気に入って、家のメニューに追加することになりました。

友人の中には、スノーボードに行ったり、買い物に行ったり、日本の伝統衣装である着物を着た人もいました。皆がそれぞれ異なったホームステイの体験をしたことにより、プログラムが特色あるものになりました。プログラム4日目はこうして終わりました。

2023年3月12日 (Instagram)

シンガポール 大学生

今日、秋田を発ちます。

この数日間は本当に心に残る日々でした。そして、秋田に住むということがどのようなことを教えていただきました。豊かな文化と歴史はとて学ぶべき魅力のあるものでした。

風景や景色はたいへん印象に残るものでしたし、地元の人々の温かい笑顔に、私達がとても歓迎されていると感じました。

## 7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表（抜粋）

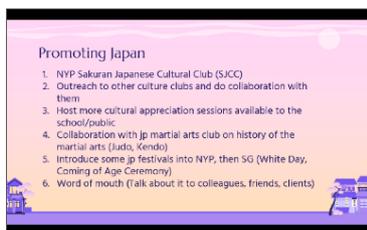
### 日本語学習者 I ①



#### 「ソーシャルメディアによる普及活動」

- ① ナンヤンポリテクニクには、桜蘭日本文化クラブというクラブがあり、Instagram を使用しています。この Instagram を活用して、自分達で動画や写真を編集し、Instagram のストーリーハイライト、リール、ポスト機能を通して、日本での学びについて広めます。
- ② ストーリーハイライト(縦長のフルスクリーンの写真と短い動画)機能では、主に写真と動画を地名入りで載せる予定です。
- ③ Instagram などのリール(編集された長い動画)機能では、動画をリールとして編集して載せる予定です。ここでは、JENESYS 訪日プログラムの1日1日について、またはあるカテゴリーについて投稿していく予定です。
- ④ ポスト(投稿された写真)機能では、プログラムの各1日の最も良い写真と、その日の説明と一緒に載せる予定です。
- ⑤ 投稿コメントは、プログラムでの経験を、参加者からの感想と一緒に共有する予定です。

### 日本語学習者 I ②



#### ■ アクション・プラン発表まとめ

##### 「日本を宣伝する」

大学での繋がりを活用して、学生として日本のユニークな文化や習慣を伝えて日本を宣伝できると考えています。主に6つの方法により日本をプロモーションする予定です。

- ① ナンヤンポリテクニクにある、桜蘭日本文化クラブを活用
- ② 他の文化クラブに連絡してコラボ活動を実施
- ③ 学校や一般の人々に向けて、より多くの文化セッションを開催

シンガポールは多くの国と繋がりを持つ外交国家であり、日本についての文化セッションを開催することにより、日本のユニークな文化をシンガポールの人々に紹介することができます。その際は、JICE のプログラムで配布された地図やガイドを利用し、日本についての知識

を参加された方に共有します。

- ④ 柔道や剣道等の武道の歴史について、大学の武道クラブとコラボレーションを実施
- ⑤ ホワイトデー、成人式などの日本の行事やイベントについてナンヤンポリテクニック学生のほかシンガポールの人々に向けて紹介
- ⑥ 同僚、友人、クライアントに向けて、日本について口伝えで情報を広めていく。  
日本は食べ物、娯楽、美しい風景、進んだ技術製品等、観光客を魅了する多くの側面があり、友人、家族、同僚に会話を通して日本を紹介します。東京都と仙北市で体験した参加者として、旅行日程の作成や訪問場所についてアドバイスします。また、今回のプログラムで配布された地図やガイドブックも利用したいと思います。

### 日本語学習者 I ③



#### ■ アクション・プラン

ナンヤンポリテクニックからの参加者で構成されているグループメンバーは、日本でのプログラム期間中及び帰国後に、一般の人々と友人・家族に向けてアクション・プランを実施する予定です。

- ① 媒体は Facebook と Instagram を使用
  - ・ Facebook は、写真と動画を投稿
  - ・ Instagram は、ストーリー機能とポスト機能を使用  
(今回のプログラムを通じた) 日本についての気づきを広め、日本での経験について多くのことを投稿します。
- ② プログラムでの各自の経験を友人や家族に話し、プログラムを通して学んだことや興味深いことや気づきを共有

### 日本語学習者 I ④



- ① シンガポール人が日本のどの県に行ったことがあるかというアンケートをとったところ、多くは東京都・大阪府などの都市と京都府・奈良県・広島県などの歴史地区でした。秋田県を訪れたことがあるのはわずかに0.3%でしたが、地方には隠れた宝があると思います。
- ② 日本で気づいたことは、人々が思いやりの心を持っているということ。例えば公共の場では大声を出さないとか使用した場所はきれいにするなど他人を気遣う文化があることが分かりました。

上記2点を踏まえ、日本の魅力を広く知ってもらうために、どのようなソーシャルメディアを使用するか検討し、最終的にブログが良いという考えに辿り着きました。若者にはInstagramで、年配にはFacebookで、またTikTokで短い動画投稿で、様々なソーシャルメディアで日本に興味をもってもらうから、ブログにたどり着く流れを考えました。現在はデモフィルムしか作っていませんが、シンガポールに帰国後、内容をより充実させたいと考えています。

### 日本語学習者 I ⑤



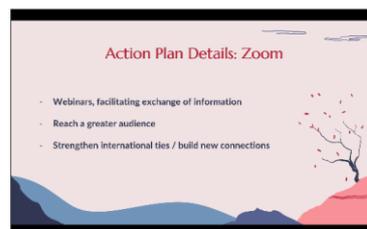
#### ■ アクション・プラン発表まとめ

日本人は礼儀正しいという知識はありましたが、街中では皆きちんとした服装をし、何かを食べながら歩いている人は見かけませんでした。ごみ箱が街中で見当たらないのに道路はきれいでした。

秋田県のまるで絵のようなきれいな景色と日本の文化を動画にし、TikTokに投稿します。

- ① 行動計画については、3月31日までにグループ6名の経験を共有し、動画にまとめ、4月30日までに動画を編集し、5月15日までにソーシャルメディアに投稿する予定です。
- ② Ngee Ann Polytechnicには4万人のフォロワーがいます。また、グループのメンバーには、Instagramに200名以上のビューアーがいる人もいます。合計すると1200名以上になります。このフォロワーやビューアーの方たちに私たちの経験を見ていただき注目を集めたいと考えています。

### 日本語学習者 I ⑥



■ アクション・プラン発表内容

シンガポールでは若い世代ほど日本に興味を持つ人が増えています。16-24歳の人口の68%が次に行きたい旅行先として日本を挙げています。そこでInstagramをプラットフォームとして以下の3つのプランを考えました。

- シンガポールと日本の地方の地域アンバサダーの交流を実施します。
- ロケーション・タグを作り、タグを開くことでその地を見ることができるようにします。
- #connectJapan というハッシュタグを作ります。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）